



ANALOG HIGH DEFINITION COLOR CAMERA SYSTEM

HD AHD

HD-AHD2.0 SD 録画付 BOX カメラ (DC12V)

SD-3402AH

取扱説明書



ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、必要なときに読めるように大切に保管してください。

●安全上のご注意●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用いただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。なお本機は、事件や事故を未然に防ぐものではありませんのでご理解願います。

●表示マークについて●

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	禁止の行為を伝えるものです。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると 人が損害を負う可能性および物的損害の発生 が想定されます。	強制事項の内容を伝えるものです。

△ 警 告

	取付け場所などを移動するときは、 必ずすべての電源を切った状態で線を はずしてから移動してください。
	本製品は精密機械ですから分解したり、 改造しないでください。故障の原因となります。
	電源コード類を傷つけたり加工したり、 引っ張らないでください。電源コード類が破損し、 火災、感電の原因となります。
	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの 異常状態の場合はすぐに電源を切り、 電源プラグを持ちコンセントから抜いてください。

△ 注 意

	内部の点検、調整、修理は販売店にご相談ください。 お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
	設置工事による事故や障害が生じた場合は当社では 責任を負えません。専門技術者による施工をご依頼 するようおすすめいたします。
	重いものをのせたりすると本製品が破損し、 火災、感電の原因となります。
	ぬれた手で触らないでください。 感電の原因となります。

CONTENTS

■ 特長	3
■ 仕様	3
■ 各部の働き	4
■ カメラ OSD メニューの説明	5
■ 1. DVR 部リモートコントローラー、レコーダーの説明	6
1-1. 起動	6
1-2. ライブモニタ	7
1-3. 設定	7
1-4. 録画	7
1-5. 曜日	9
1-6. SD カードオプション	9
1-7. 再生(本体)	10
1-8. 簡易再生	10
1-9. 検索再生	11
1-10. パスワードプロテクトの設定	11
1-11. PC で再生の場合	11
1-12. アラーム出力(モーション検知信号出力)	13
1-13. 初期化	13
1-14. 情報	13
■ GPS アンテナの設置について	14
■ 録画時間目安表	15
■ 工場初期値、工場出荷設定一覧	16
■ 外形図	16
■ MEMO	17
■ テクニカルサポート、保証書	18

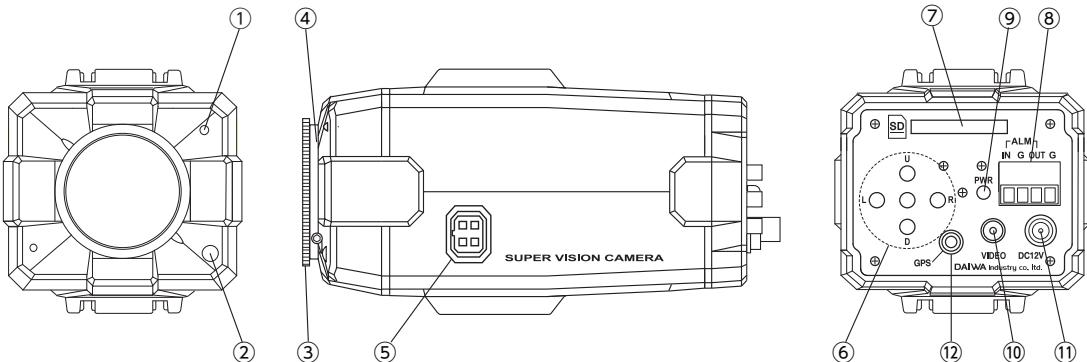
■ 特長

- SD カード録画機能により長期の常時録画が可能
- オンスクリーンディスプレイ (OSD) 機能にプライバシーマスク 4 ゾーン設定可能
- DC12V 電源
- D-WDR 機能付
- イベント設定時 0 ~ 10 秒のプリ録画設定が可能
- フリッカーレス機能付
- 1920 × 1080 フル HD の録画に対応
- 逆光補正機能付
- 補助モニタ出力端子 (MONITOR OUT)
- 3D-DNR 機能付
- GPS による時刻補正 (GPS アンテナはオプション)
- 最低被写体照度 : 0.1LUX

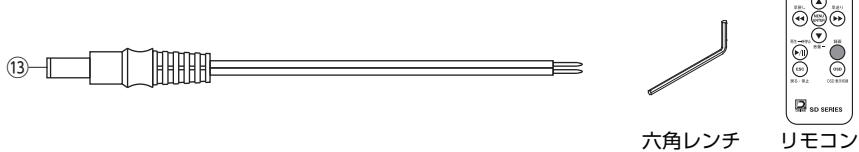
■ 仕様

モデル名		SD-3402AH
カメラ部	有効画素数	210 万画素 1984(H) × 1105(V)
	イメージセンサー	1/2.9" CMOS
	映像信号方式	AHD2.0 / NTSC
	映像出力	1.0Vp-p / 75 Ω
	走査方式	プログレッシブ
	解像度 / S/N 比	水平 1100TV 本 / 50dB 以上
	最低被写体照度	0.1Lux F1.4 (SENSUP: 0.001 Lux X30)
	フリッカーレス機能	シャッター変更にて対応
	デイナイト	AUTO / カラー / B/W / 外部 / OFF
	シャープネス	オート (0 ~ 10)
	AGC	AGC:Level Setting (0 ~ 15)
	SENSUP	AUTO (x2 ~ x30)、OFF
	逆光補正機能	OFF / BLC / HSBLC
	ホワイトバランス	ATW / AWC / マニュアル / 室内 / 室外 / AWB
	DNR	2DNR / 3DNR
	動き検知	ON/OFF (エリア 4ヶ所)
	プライバシー	ON/OFF (エリア 4ヶ所)
	デジタルワイドダイナミック	ON/OFF
録画部	映像反転	OFF / ミラー / V-FLIP / 回転
	言語	日本語 (全 16ヶ語)
	レンズ	オプション
	監視角度	オプション
	マイク	なし
	I/O センサー入力	無電圧接点 (N.O,N.C 切替可)
	アラーム出力	オーブンコレクタ出力 × 1 (モーション検出)
	録画メディア	SD カード 1GB ~ 32GB (SDHC)、64GB ~ 128GB (SDXC)
	解像度 / フレームレート	1920 × 1080 / 1 ~ 25fps、1280 × 720、640 × 480 / 1 ~ 30fps
	モード	常時、イベント、スケジュール、手動、上書き、停止
一体型	モーション検出	範囲及び感度設定可
	再生 / スピード	再生、早送り、コマ送り、早戻し、コマ戻し、一時停止 / x1/x2/x4/x8/x16/x32
	ステータス LED 表示	LED (赤) : 録画状態表示、点灯: 録画中及び待機中、 点滅: SDカード異常、未挿入及びフォーマット中、消灯: 録画停止中
	時刻補正	GPS (オプション)
	電源	DC12V
	消費電流	最大 380mA
	動作温度 / 湿度	-10°C ~ 50°C / 90% 以下
	外形寸法 / 質量	67(W) x 70(H) x 127(D)mm / 約 300g
	入出力端子	映像: RCA-J、電源: DC-J、アラーム: 端子、GPS アンテナ: φ 3.5-J
	付属品	リモコン、六角レンチ、DC ケーブル (DC-P/2P)
	オプション	GPS アンテナ

■ 各部の働き



付属品



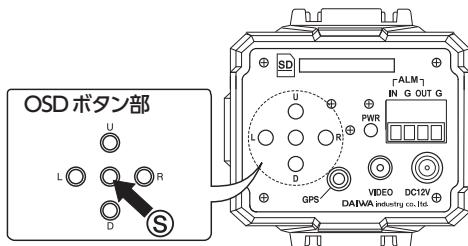
- ① DVR 用 LED 表示 (赤) : 録画モード時=点灯、SD カードエラー時=点滅、録画停止時=消灯
- ② リモコン受光部 : リモコンを使用する場合は受光部に向けて操作してください。
- ③ フランジバック調整ダイヤル : 工場出荷時にあらかじめフランジバック調整を行っていますので、必要以外調整は行わないでください。
- ④ フランジバック調整
ダイヤルロックネジ : フランジバック調整ダイヤルを調整する際付属の六角レンチを使用し、ネジをゆるめてからダイヤルを回してください。ダイヤルを調整後はネジをしっかりと締めてください。
- ⑤ DC アイリスコネクター端子 : DC アイリスレンズのコネクタを接続します。※ Video アイリスレンズは使用できません。
- | | |
|------------------|-------------------|
| < DC アイリスレンズ > | |
| pin1 : DAMP(-) | pin3 : DRIVE(+) |
| pin2 : DAMP(+) | pin4 : DRIVE(-) |
| | |
- ⑥ OSD メニュー設定ボタン : OSD メニュー設定時使用します。(P.5 参照)
- ⑦ SD カードスロット : SD カードを挿入します。(P.6 参照)
- ⑧ アラーム OUT/IN 端子 : 端子にセンサーを接続するとセンサー反応時に録画が開始します。
- ⑨ POWER LED 表示 (緑) : 電源を入れると点灯します。
- ⑩ 映像出力端子 (RCA) : DVR、モニタ等 VIDEO 入力端子に接続します。
- ⑪ 電源入力端子 : DC12V 電源を接続します。
- ⑫ GPS アンテナ端子 (φ 3.5-J)
- ⑬ 付属 DC ケーブル (DC-P/2P)
- ⑭ GPS アンテナ (オプション)

■ カメラ OSD メニューの説明

メインメニュー

OSD の出荷時設定は、P.16 カメラ OSD メニュー出荷時設定一覧の様になっております。
設定値を変更する場合は下記の説明をお読みください。

- (S) “SETUP” ボタンを押すとメインメニューが表示されます。



SETUP	(S)	S : メニュー画面表示、及び決定
UP	(U)	▲ : カーソルを上へ移動
DOWN	(D)	▼ : カーソルを下へ移動
RIGHT	(R)	▶ : カーソルを右へ移動、数値を上げる
LEFT	(L)	◀ : カーソルを左へ移動、数値を下げる

カメラの全般的な機能の設定を行ないます。①②③④⑤ボタンを使用してメニュー項目を選択してください。
項目の後ろに “↓” 表示があるものは、⑥ボタンを押すとその項目について詳細な設定メニューが表示されます。



1. レンズ : 使用するレンズを選択します。
2. 露出 : シャッター、AGC などの設定をします。
3. BACKLIGHT : バックライト（逆光補正）に関する設定を行います。
4. ホワイトバランス : 色合いに関する設定を行います。
5. DAY&NIGHT : 周囲の明るさに対する動作を設定します。
6. NR : ノイズリダクションに関する設定を行います。
7. スペシャル機能 : 動き検知、プライバシーマスクなどの項目について設定します。
8. 調整 : 画質やビデオモニタに関する設定を行います。
9. 終了 : 設定を終了します。
● 保存&終了 ⇒ 設定値を保存して OSD メニューを終了します。
● リセット ⇒ 設定を出荷時設定に戻します。
● 保存しない ⇒ 設定値を保存せず OSD メニューを終了します。

※ OSD項目の詳細説明は、
当社ホームページの
OSDメニュー取扱説明書
を参照願います。



QR コード

■ 1. DVR 部リモートコントローラー、レコーダーの説明

本レコーダーの設定はすべてリモートコントローラーで行います。

表 1. リモートコントローラー機能一覧



図 1. リモートコントローラー

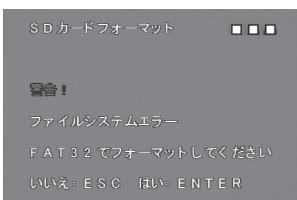
再生 / 一時停止	▶/II	ライブ画面時：録画再生画面へ移動 録画再生時：再生、一時停止
戻る / 停止	ESC	メニュー設定時：前画面へ戻る 手動録画時：録画停止 録画再生時：前画面へ戻る
録画	REC	ライブ画面時：手動録画開始 録画検索時：10 ファイル送り
OSD 表示切替	OSD	ライブ画面時：OSD 表示、非表示切替 録画検索時：10 ファイル戻し
MENU ENTER	MENU ENTER	ライブ画面時：メニュー画面に移動 メニュー画面：サブメニュー画面へ進む 録画検索時：再生
音量 +	▲	ライブ画面時：音量アップ メニュー画面：上に移動 ※本機では音量アップは未対応です。
音量 -	▼	ライブ画面時：音量ダウン メニュー画面：下に移動 ※本機では音量ダウンは未対応です。
早送り	▶	メニュー画面：設定変更 コマ送り（一時停止時） 録画再生時：倍速再生（再生時） 録画検索時：ファイル選択
早戻し	◀	メニュー画面：設定変更 録画再生時：倍速逆再生（再生時）、1 秒戻し（一時停止時） 録画検索時：ファイル選択

※ DVR 部の OSD を非表示にした状態で “MENU ENTER” を押すことで、カメラ部の OSD を操作することが可能です。

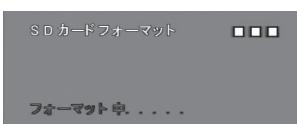
1-1. 起動

- 電源 ON の 10 秒後にシステムが立ち上がり、ステータス LED が点滅しますので SD カードを挿入してください。

※ SD カードが書き込み禁止になっていないか確認して挿入してください。
※ SD カードが FAT32 でフォーマットされていない場合には、以下の手順でフォーマットしてください。



フォーマットされてない場合は、左図の画面が表示されます。リモートコントローラーの “MENU ENTER” ボタンを押すとフォーマットが開始されます。



フォーマットが開始されるとサブメニューが表示されます。(ステータス LED は点滅) この画面が消えるとフォーマットは完了し、ライブ画面に戻ります。

※ フォーマット中は SD カードを抜かないでください。SD カードが故障する恐れがあります。

- SD カードが本レコーダーに認識されるとステータス LED が点灯に変わり、初期状態では、自動で常時録画が開始されます。

ステータス LED が点滅し続いている場合は、カードの挿入状態を確認してください。

- 電源が OFF にされ、再度電源が ON にされた場合は、自動で電源 OFF 前の録画モードで録画を開始します。

- 下記手順で、リモートコントローラーのキーロック及び解除が行えます。

ロック：“ESC”、“ESC”、“OSD” 解除：“OSD”、“OSD”、“ESC”

※ 録画中に SD カードを抜かないでください。（録画停止状態で SD カードを抜いてください。）

※ メインメニューを表示させると録画を停止できます。

※ 64GB、128GB に対応している SDXC カードのフォーマットは本機で行ってください。購入直後の製品を使用する場合や WINDOWS PC 等で FAT32 形式以外でフォーマットした場合は、ファイルシステムエラーが表示されますので、本機でフォーマットして使用してください。

※ 本機以外の機器で記録したファイルの再生については対応していません。

1-2. ライブモニタ



図 2. ライブ画面

タスクバー

1. システムが立ち上がると自動でライブモードになります。
2. “OSD” ボタンを押すと現在の時刻表示及びタスクバーの表示、非表示を切り替える事ができます。
3. タスクバーの内容を下記に示します。

表 2. タスクバー機能一覧

録画状態	: 録画中。 この表示が無い時は、録画が停止しています。
録画モード	: 常時録画 : イベント録画（モーション） : 手動録画 : イベント録画（センサー） 設定によってマークが変わります。
録画解像度	1920 1080 : 1920x1080 ピクセル時 1280 720 : 1280x720 ピクセル時 640 480 : 640x480 ピクセル時 設定によってマークが変わります。
録画画質	HQ : 最高画質 NQ : 高画質 BQ : 標準画質 設定によってマークが変わります。
録音	: 録音 : 録音しない 設定によってマークが変わります。 ※本機では音声録音は対応しておりません。
SD カード状態	: SD カード正常 : SD カード異常または、未挿入
上書き録画	: 上書き録画中 : 上書き録画停止中 (SD カードの残量表示) 94%
GPS	(点灯) : 受信済 (点滅) : サーチ中 : アンテナ未接続
ロック	: ロック中。 この表示が無い時は、ロックが解除しています。

※上書き録画停止中で、SD カード残量がなくなった時には、“SD カードフル”が表示されます。

1-3. 設定

ライブ画面で “MENU ENTER” ボタンを押すとレコーダーメニューが表示されます。設定は値を変更した後、すぐに反映されます。設定画面からライブ画面に戻るには “ESC” ボタンを押します。初期録画設定から変更しない場合は設定不要です。レコーダーメニューが非表示の状態で “MENU ENTER” を押すとカメラのメニューが表示されます。

設定は で値を変更します。設定画面からライブ画面に戻るには [終了] までカーソルを動かし “MENU ENTER” ボタンを押します。

1-4. 録画

本レコーダーには、4つの録画モード（常時、イベント、スケジュール、手動）があります。常時とイベント録画は、同時に使用する事により、録画品質を分けて録画時間を節約する事が可能です。図 3 の “録画設定” を選択し、“MENU ENTER” ボタンを押すとサブメニューが表示されるので、それぞれの録画モードの設定を行います。前の画面に戻るには “ESC” ボタンを押します。

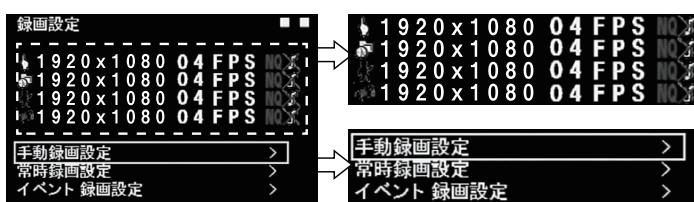


図 3. サブメニュー（録画設定）

各モードの設定表示
(記号の意味については表2参照)

各モードの設定箇所
(選択して “MENU ENTER” ボタンを押します)

設定項目の解像度、フレームレート、画質及び音声設定については、全録画モード共通です。

解像度	1920 × 1080、1280 × 720、640 × 480 から選択
フレームレート	1, 2, 4, 7, 10, 15, 20, 30fps から選択 (1920 × 1080 のみ上限 25fps)
画質	最高、高、標準から選択 (画質は最高 > 高 > 標準)
音声	音声録音の OFF、ON から選択 (※本機では音声録音は対応しておりません。)

※ メインメニュー や録画再生している期間は、録画が停止していますので、注意してください。ステータス LED が消灯します

1. 常時録画



図 4. サブメニュー (常時録画設定)

システムが起動した後、自動で録画を開始し、電源が OFF にされるまで継続します。スケジュール録画を行う時は、常時録画とイベント録画両方を OFF にします。

2. イベント録画

モーション検知や外部センサー検知で録画を開始します。イベント前記録時間及びイベント後記録時間で設定した期間、録画を行います。

モーションとセンサー両方を検知して、録画する設定も可能。スケジュール録画を行う時は、両方を OFF にします。

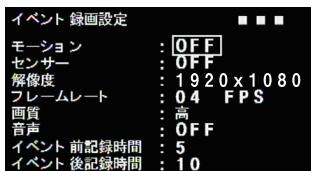


図 5. サブメニュー (イベント録画設定)

イベント前記録時間 : イベントが発生する直前の記録時間です。
0 ~ 10 秒の範囲で設定可能です。
イベント後記録時間 : イベントが発生した直後の記録時間です。
5 ~ 90 秒の範囲を 5 秒単位で設定可能です。

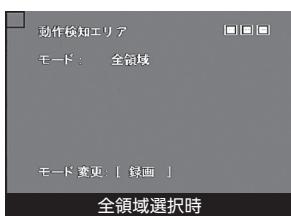
● モーション

モーション範囲や感度は、メインメニュー “動作検知設定” の “エリア設定” “感度設定” で行います。



図 6. サブメニュー (動作検知設定)

1. エリア設定



赤色で表示
されている箇所は、
モーションを検知
するエリアです。



灰色で表示
されている箇所は、
モーションを検知
しないエリアです。

図 7. サブメニュー (動作検知エリア)

範囲選択のモードは以下の種類で、“録画”ボタンで切り替え、“MENU ENTER”ボタンで決定します。

全領域	全領域をモーション検知領域として設定します。
セル編集	セル単位で検知領域を設定します。
ブロック消去	検知領域からブロック単位で検知領域を削除します。“MENU ENTER”ボタンを押すと検知領域が青く表示されるので、範囲を選択し、“MENU ENTER”ボタンを再度押して削除します。
全て消去	検知領域をすべて削除します。
ブロック追加	未検知領域にブロック単位で検知領域を追加します。

2. 感度設定



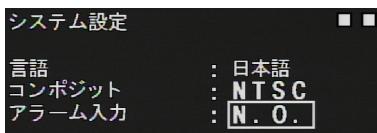
図 8. サブメニュー（動作検知設定）

モーションを検知する感度を設定することができます。動きに現在の動きの大きさがリアルタイムに表示されます。動作検知基準値は、モーションを検知するレベルを表しており、動きが動作検知基準値を超えた時、イベント録画（モーション）されます。動きは大きくなるほど目盛りが多く表示され、動作検知基準値が高くなる（動作検知感度が下がる）設定ほど目盛りが多く表示されます。

● センサー

外部センサーの種類を設定します。メインメニューでシステム設定のアラーム入力で N.O. 又は N.C. を選択します。

※ 本レコーダーのアラーム入力には、電気信号を印加しないでください。



N.O. : 接点が通常オープン、アラーム時クローズ（初期値）

N.C. : 接点が通常クローズ、アラーム時オープン

※ 言語、コンポジットは変更しないでください。

図 9. サブメニュー（システム設定）

3. スケジュール



指定した時間内で常時／イベント録画を行います。設定する時刻で録画モードを選択します。ALL は、すべての録画モードが有効になる設定です。

※ 常時／イベント録画を OFF に設定しないと設定項目が表示されません。

図 10. サブメニュー（スケジュール録画設定）

4. 手動録画

リモートコントローラーの“録画”ボタンを押すと録画モードに関わらず、すぐに録画が開始します。手動録画を終了するには、手動録画中に“ESC”ボタンを押します。

1-5. 日時

日時を設定する事ができます。 メインメニューの日時設定を選択し、“MENU ENTER”ボタン押すと、図 11 のサブメニューが表示されるので、日時や表示形式の設定を行います。前の画面に戻るには “ESC” ボタンを押します。



日付の形式	Y(年)/M(月)/D(日)、D/M/Y、M/D/Y から選択可能。
年	西暦で入力します。月：月、日：日を入力します。
時間	時間を入力します。時間：分：秒。

図 11. サブメニュー（日時設定）

1-6. SD カードオプション

録画ファイルサイズの最大値、上書き設定及びフォーマットを行う事ができます。メインメニューの SD カードオプションを選択し、“MENU ENTER”ボタンを押すとサブメニューが表示されるので、上記設定を行います。また、ディスク容量及びディスク残り容量も確認する事ができます。前の画面に戻るには “ESC” ボタンを押します。

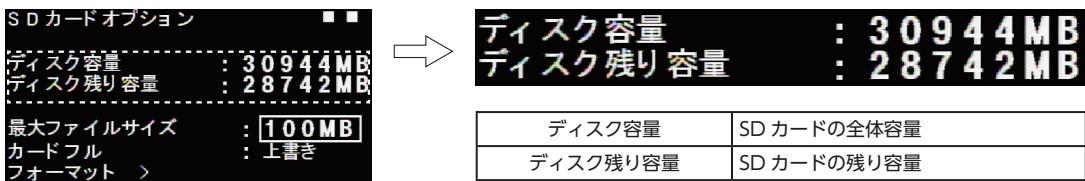


図 12. サブメニュー (SD カードオプション)

1. 最大ファイルサイズ

録画ファイルサイズの最大値を設定します。3, 10, 20, 50, 100MB から選択します。(初期値: 100MB) ファイルサイズを小さくすると録画ファイルの数が多くなります。

2. カードフル

SD カードの残り容量が無くなった時の動作を設定します。上書き、停止から選択します。(初期値: 上書き)

※ 停止を選択すると SD カードの残り容量が無くなった時点で録画を停止しますので、通常は上書きのままご使用ください。

3. フォーマット

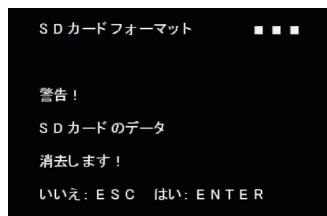
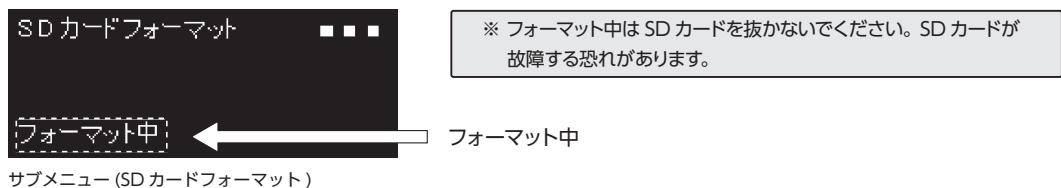


図 13. サブメニュー (SD カードフォーマット)

SD カードをフォーマットする事ができます。図 12 でフォーマットを選択し “MENU ENTER” ボタンを押すとサブメニューが表示されるので、フォーマットする場合は、“MENU ENTER” ボタンを、キャンセルする場合は、“ESC” ボタンを押します。フォーマットが開始されると図 13 のサブメニューが表示されます (ステータス LED は点滅) この画面が消えて図 12 に戻ると完了です。



サブメニュー (SD カードフォーマット)

1-7. 再生 (本体)

録画データをレコーダー本体で再生する事が可能です。簡易再生と検索再生があります。

※ 再生中は、録画が停止します

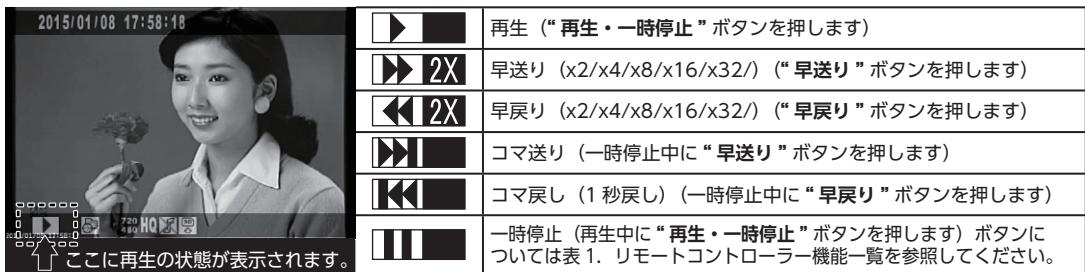


図 14. 再生画面

1-8. 簡易再生

ライブ画面で “再生・一時停止” ボタンを押すと最終録画ファイルが自動で再生されます。ファイルの再生が終わると一番古い録画ファイルから順次自動で再生されます。再生を終了するには、“ESC” ボタンを押します。

1-9. 検索再生

検索再生は、ライブ画面で“MENU ENTER”ボタンを押し、メインメニューを表示し検索／再生を選択します。表示された検索／再生サブメニューで録画ファイルの日付や時間を選択し、“MENU ENTER”ボタンを押すと再生が開始します。再生を終了するには、“ESC”ボタンを押します。更に2回“ESC”ボタンを押すとライブ画面に戻ります。



図 15. 検索再生画面

5日以上は次のページになります。現在のページ／合計ページ数です。※ ファイル数ではありません。

ライブ画面で“MENU ENTER”ボタンを押すとメインメニューが表示されます。検索／再生に合わせて“MENU ENTER”ボタンを押します。検索／再生サブメニューが表示され、日付毎に格納されている録画ファイル数が表示されます。

△□ボタンで再生したい日付を選択すると、選択している日付のファイルが表示されます。時間ファイルの選択で1ファイルずつ移動する時は□△ボタンを、■ボタンで+10ファイル、○ボタンで-10ファイル移動します。

再生を開始する録画ファイルを選択し、“MENU ENTER”ボタンを押すと再生が開始します。

再生を終了するには、“ESC”ボタンを押します。更に2回“ESC”ボタンを押すとライブ画面に戻ります。

検索／再生画面の記号は、下記を示します。

	常時録画データ		手動録画データ		モーション録画データ
	センサー録画データ		イベント前録画データ		

1-10. パスワードプロテクトの設定

SDカードに記録した録画ファイルをPCで再生する際に、特定のユーザーしか再生出来ないように4桁のパスワードを設定できます。(パスワードを設定しない場合は、誰でも再生する事が出来ます。)

パスワードの設定方法は、メインメニューのシステム設定を選択し、“MENU ENTER”をボタンを押すと、図16のサブメニューが表示されるので、△□ボタンでパスワードの項目を選択します。□△ボタンで、希望する数値に設定します。同様に、△□ボタンで次の桁を選択し、□△ボタンで数値を設定します。

パスワードを設定した場合は、PC再生の際、そのパスワードが必要となります。

初期値の[0000]はパスワード未設定でプロテクトが掛かっていない状態です。



図 16 パスワードの設定



1-11. PCで再生の場合

SDカードリーダ付きのWindows PCで録画ファイルを再生することができます。SDカードを本機から抜く場合は、メインメニューを表示し、録画が停止した状態(LED消灯)で行ってください。

録画ファイル名には下記規則が有ります。

西暦、月、日 - 時間、分、秒、録画された時の録画モード

録画モード									
MA	手動	MO	イベント (モーション)	AL	イベント (センサー)	PA	イベント前録画	CO	常時

(例 : 20161207-130116CO 常時録画モードで録画された 2016 年、12 月 7 日、13 時 1 分 16 秒のデータ)

パスワードプロテクトを設定していない場合

- 準備 SD カードを本レコーダーから抜く為に録画を停止します。ライブ画面で “MENU ENTER” ボタンを押し、メインメニュー画面を表示すると録画が停止します。

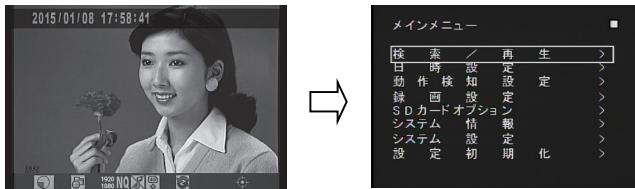


図 17. メインメニュー（録画停止）

- カメラ前面のステータス LED が消灯している事を確認して本レコーダーから SD カードを抜きます。
- SD カードを PC の SD カードリーダに挿入します。
- SD カード内の録画フォルダ (DVH264) を開き、再生を行うファイルをクリックすると Windows PC の Windows Media Player で再生されます。

パスワードプロテクトを設定している場合

パスワードプロテクトを設定した録画ファイルはそのままでは PC の Windows Media Player では再生する事が出来ないため、専用のソフトウェア (FileLister) を使用する必要があります。FileLister の入手に関しては、弊社営業までお問い合わせください。

前述 1. ~ 3. の操作を行い、SD カードを PC の SD カードリーダに挿入します。

- 使用されている PC の Windows OS の 32bit 又は 64bit に合わせて、FileLister 32.exe 又は、FileLister 64.exe を起動します。
- SD カード内の録画フォルダ (DVH264) を開きます。
- データが多い場合は、全ファイルが表示されるまでに数十秒かかりますのでしばらく待ちます。

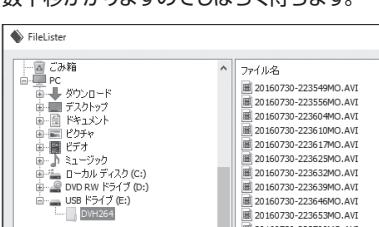


図 18. FileLister 起動画面

- 再生を行うファイルを選択して [再生] ボタンをクリックします。

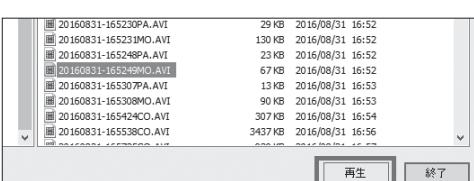


図 19. 再生ファイル選択

メインメニューが表示されている時、録画停止状態です。

- パスワードチェックの入力画面が表示されますので、パスワードを入力し [再生] ボタンをクリックします。 [すべてのファイルに適用] にチェックを入れるとファイル選択時にすべてのファイルにこのパスワードが適用されますので、1 回 1 回パスワードを入力する必要がなくなります。

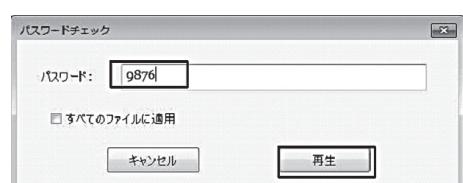


図 20. パスワード入力画面

1-12. アラーム出力(モーション検知信号出力)

設定している録画モードに関らず、画面に動きがあった時(モーション検知時)アラームを出力します。

検出範囲及び感度は、「動作検知設定」で設定します。「P.8 2. イベント録画 ● モーション」を参照してください。オープンコレクタ出力で、モーション検知時:L モーション未検知時:Hi-Zとなります。アラーム出力端子にDC30Vより大きい電圧を印加しないでください。また、アラーム出力端子に50mAより大きい電流が流れないように接続してください。

1-13. 初期化

本レコーダーを初期設定に戻す事ができます。ただし、日時設定は初期化されません。図21のメインメニューで設定初期化を選択し、設定初期化のサブメニューを表示した状態で、“MENU ENTER”ボタンを押すと設定が初期化されメインメニュー画面に戻ります。キャンセルする場合は“ESC”ボタンを押します。

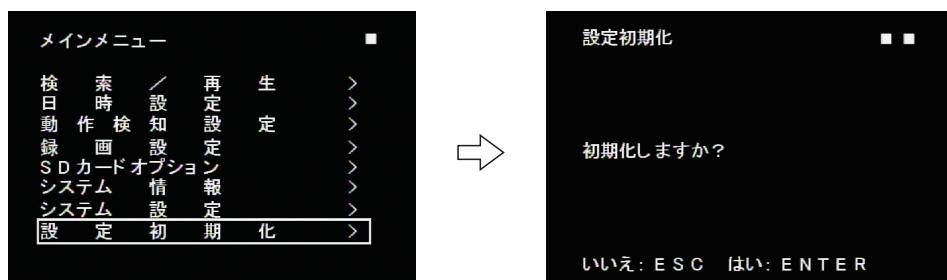


図 21. 設定初期化

1-14. 情報

本レコーダーのシステム情報を確認する事ができます。※この項目では、設定は行えません。



図 22. システム情報

システム情報表示一覧

バージョン	ソフトウェアのバージョンを示しています。
SDカードフル	SDカードの上書き状態を示します。
録画設定一覧	: 常時録画の設定一覧行 : 手動録画の設定一覧行 : イベント録画(モーション)の設定一覧行 : イベント録画(センサー)の設定一覧行
解像度	1920×1080、1280×720、640×480
フレームレート	1、2、4、7、10、15、20、30fps (1920×1080のみ上限25fps)
画質	HQ : 最高画質 NQ : 高画質 BQ : 標準画質
録音	: 録音 : 録音しない ※本機では音声録音は対応しておりません。

■ GPS アンテナの設置について

本機に、GPS アンテナ（オプション）を接続することで、GPS 衛星より時刻情報を受信し、SD カードに記録されるデータを、正確な時刻で管理することが出来ます。GPS 機能を円滑に機能させるためには、GPS からの電波を確実に受信できる場所へのアンテナ設置が大変重要となりますので、以下の設置手順を参考に実施してください。本アンテナは防水型ではありません。GPS アンテナを屋外へ設置する際は、プラスチック製のボックス等に設置してください。

■ 設置手順

1. プラスチック製ボックス等に入れます。GPS アンテナの上面に障害物がない様に入れて、両面テープで固定してください。

更に固定が必要な場合はアンテナの底面が磁石になっていますので、鉄板などに装着してください。

2. GPS アンテナを、カメラに接続します。

3. 下記の条件を参考にプラスチック製ボックス等を設置してください。

- 上空に障害物がないこと
- 近くに放送又は通信用アンテナや避雷針などがないこと

4. プラスチック製ボックス等の設置終了後、カメラの電源を ON にします。

5. TV モニタ画面の GPS アンテナの表示が「点滅」から「点灯」に変われば GPS 情報を受信していますので、時刻補正が実行されています。約 2 分以上経っても「点滅」のままの場合は、GPS アンテナの設置場所を調整してください。

※ GPS アンテナの表示が一旦、「点灯」してもその後「点滅」する場合があります。「点滅」の状態が続く場合は、GPS アンテナの設置場所を調整してください。

※ GPS アンテナの表示に×印がある場合は、アンテナが未接続の状態ですので、アンテナの接続を確認してください。

GPS 表示
 (点灯) : 受信済
 (点滅) : サーチ中
 : アンテナ未接続

■ バックアップ機能

停電などで電源が落ちた場合、約2時間程度のバックアップ機能がありますので、電源回復後、短時間で時刻補正することができます。長時間通電しない場合は、バックアップが解除されますので、時刻補正されるまでに、新規で設置する場合と同じ時間を要します。(約 2 分～3 分)

■ GPS 動作仕様

本機では、以下の条件で時刻補正を行います。

- 電源投入時
- 内部時計が「00:00:00」(深夜 0 時) の時

■ 録画時間目安表

SD カード 32GB 使用時の録画目安表 (単位: 時間)								
解像度	録画画質	フレームレート (fps)						
		25fps	20fps	15fps	10fps	7fps	4fps	2fps
1080P	最高	9	12	13	20	26	36	60
	高	15	16	20	30	37	59	87
	標準	23	27	32	48	60	91	129
		30fps	20fps	15fps	10fps	7fps	4fps	2fps
720P	最高	16	22	36	38	46	65	97
	高	27	36	40	63	78	109	173
	標準	44	56	72	105	127	182	372
480P	最高	42	53	60	89	116	161	246
	高	71	86	99	148	198	277	539
	標準	129	155	167	243	296	401	605
								901

SD カード 64GB 使用時の録画目安表 (単位: 時間)								
解像度	録画画質	フレームレート (fps)						
		25fps	20fps	15fps	10fps	7fps	4fps	2fps
1080P	最高	19	23	26	40	52	72	120
	高	30	33	39	60	75	118	173
	標準	46	54	64	95	121	182	258
		30fps	20fps	15fps	10fps	7fps	4fps	2fps
720P	最高	33	44	72	76	92	130	194
	高	55	72	81	127	156	218	345
	標準	88	112	143	210	253	364	744
480P	最高	84	105	121	179	232	322	492
	高	141	173	199	296	396	553	1079
	標準	258	309	334	486	592	802	1210
								1802

SD カード 128GB 使用時の録画目安表 (単位: 時間)								
解像度	録画画質	フレームレート (fps)						
		25fps	20fps	15fps	10fps	7fps	4fps	2fps
1080P	最高	38	46	53	81	104	145	240
	高	59	66	79	119	149	237	347
	標準	92	109	128	191	242	365	516
		30fps	20fps	15fps	10fps	7fps	4fps	2fps
720P	最高	66	89	145	151	184	260	388
	高	110	143	161	253	311	435	691
	標準	176	224	286	421	506	728	1489
480P	最高	168	210	242	357	464	644	985
	高	283	345	398	592	791	1107	2158
	標準	516	618	667	972	1184	1604	2420
								3604

※録画できるファイル数は 90,112 ファイルが上限となります。 ※上記表は目安です。被写体の状態により、録画できる時間は変動します。

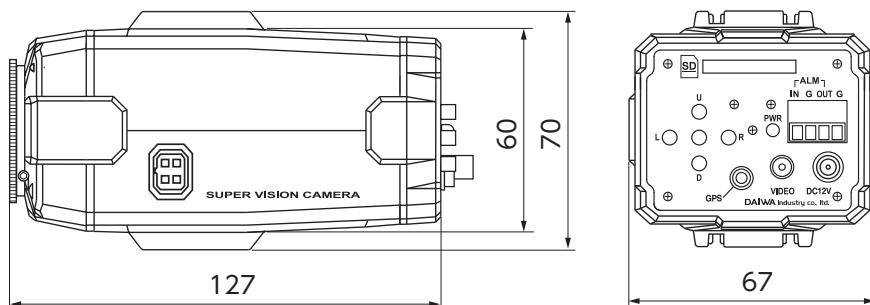
■ 工場初期値、工場出荷設定一覧

番号	機能	工場初期値	出荷時設定
1	レンズ モード⇒ MAX SHU.、IRIS SPEED	DC 室内、8	DC 室内、8
2-1	露出⇒シャッター AHD モード / NTSC モード	FLK / FLK	FLK / FLK
2-2	露出⇒ AGC	15	15
2-3	露出⇒ SENS-UP AHD モード / NTSC モード	--- / ---	--- / ---
2-4	露出⇒明るさ AHD モード / NTSC モード	38 / 47	38 / 47
2-5	露出⇒ D-WDR	OFF	OFF
2-6	露出⇒ DEFOG	OFF	OFF
3	BACKLIGHT	OFF	OFF
4	ホワイトバランス	ATW	ATW
5	DAY&NIGHT	カラー	カラー
6	NR ⇒ 2DNR、3DNR	LOW、MIDDLE	LOW、MIDDLE
7-1	スペシャル機能⇒ CAM TITLE	OFF	OFF
7-2	スペシャル機能⇒ D-EFFECT フリーズ、ミラー、NEG.IMAGE	OFF、OFF、OFF	OFF、OFF、OFF
7-3	スペシャル機能⇒動き検知	OFF	OFF
7-4	スペシャル機能⇒プライバシーマスク	OFF	OFF
7-5	スペシャル機能⇒言語	JPN	JPN
7-6	スペシャル機能⇒欠陥画素補正 ライブ欠陥画素補正、白キズ補正、黒キズ補正	ON、ON、OFF	ON、ON、OFF
7-7	スペシャル機能⇒ RS485 CAM ID、ID DISPLAY、ボーレート	1、OFF、38400	1、OFF、38400
8-1	調整⇒ SHARPNESS (AHD モード) レベル、スタート AGC、END AGC	オート 5、120、255	オート 5、120、255
8-1	調整⇒ SHARPNESS (NTSC モード) レベル、スタート AGC、END AGC	オート 5、120、255	オート 5、120、255
8-2	調整⇒モニタ BLACK LEVEL(NTSC モードのみ)、ガンマ、BLUE GAIN、 RED GAIN	LCD 8、0.50、50、50	LCD 8、0.50、50、50
8-3	調整⇒レンズ沈み補正	OFF	OFF
8-4	調整⇒ビデオアウト	NTSC	NTSC
8-5	調整⇒ COMET(NTSC モードのみ)	OFF	OFF

■ 外形図

※ 本製品は改善のため規格、外観等を予告なしに変更することがあります。

SD-3402AH



(mm)

■ MEMO

■ テクニカルサポート、保証書

● お問合せ先

株式会社ダイワインダストリ
TEL.044-396-0396 FAX.044-396-2253
E-mail info@daiwa-industry.co.jp

● 受付時間

平日(月～金) 9:00～12:00/13:00～17:00
土、日、祝日は除く



本社・企画営業本部 / TEL.044-396-0396 FAX.044-396-2253
〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田3-7-10 DAIWAビル
<http://www.daiwa-industry.co.jp>

201612

-----さりとり-----

購入年月日	年 月 日	保 証 書
型 式	SD-3402AH	
お客様	ご住所 お名前 電話	1: 保証期間はお買い上げ月日より2年です。 2: 修理はお買い上げの販売店で受付いたしますので保証書を添えてお出しください。なお、保証期間内でも、本保証書の提示がない場合や必要箇所の記入及び捺印のない場合、そのほか次のような場合の修理は有料となります。 <ul style="list-style-type: none">・使用方法の誤り、または乱用による故障。・不当な修理、改造、分解掃除等による故障。・天災(落雷、火災)による故障及び損傷。 3: 修理事品の運賃等、諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。 4: 本器の故障のため生じた2次的な事故は保証いたしかねます。 5: 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
販売店	店名・住所	D 株式会社 タイワ インタストリ ■本社サービス 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田3-7-10 DAIWAビル TEL.044-396-0396 (代) FAX.044-396-2253